

2026年度第1学期山梨学習センターゼミ

講師名	開催予定日	テーマ	ゼミ概要
詳細		ゼミの進め方	受講生へのメッセージ及び用意するもの
村松 俊夫 (センター所長)	① 4月8日	「ORIGAMI」の数理と造形	日本が誇る伝統文化「折り紙」は、「ORIGAMI」としてその国際的地位を、確立しています。単なる“遊び”ではなく、幾何学的な視点から空間構造体として捉え、その設計思想と技術・技能を実際に追体験しながら学びます。
	② 5月13日 (第3)		
	③ 6月10日		
	④ 7月8日		
	⑤ 8月5日		
	⑥ 9月9日		
大隅 清陽 (山梨大学教授)	① 4月17日	『古事記』を読む	現存する日本最古の書物である『古事記』をテキストとして、日本の文化と社会について考えます。今から1300年前に成立したこの古典を読むためには、歴史や文学だけでなく、人類学、宗教学、民俗学、神話学、言語学など、さまざまな学問の成果が必要です。古典を読む楽しみを体験することに加え、字句の広がりや深さに触れてもらいたいと思います。
	② 5月15日		
	③ 6月19日		
	④ 7月17日		
	⑤ 8月21日 (第4)		
	⑥ 9月18日		
大山 拓次 (山梨大学教授)	① 4月22日	タンパク質構造入門	固有の機能を発揮することで、私達はようやく健康に生きることが出来ます。タンパク質は原子レベルで設計された構造を持っています。構造に基づく機能の仕組みを知れば、生命に対する考え方が今までとは大きく変わるかもしれません。
	② 5月20日		
	③ 6月24日		
	④ 7月22日		
	⑤ 8月19日		
	⑥ 9月30日 (第5)		
岡松 恵 (山梨大学准教授)	① 4月8日	文様に惹かれて	身の回りに残る昔の文様を、文化史研究の手法を用いて調べてみましょう。由来や表現など、様々な角度からじっくり調べてみることで、その文様の持つおもしろさや魅力に改めて気づかされることでしょうか。また昔の日本人の美意識や心情に触れることができるかもしれません。
	② 5月13日 (第3)		
	③ 6月10日		
	④ 7月8日		
	⑤ 8月5日		
	⑥ 9月9日		
菊地 淑人 (山梨大学准教授)	① 4月16日	地域資源と観光／まちづくり	私たちの身近にはさまざまな地域資源(文化(文化財)、自然、景観など)があります。その価値や魅力は何なのでしょう。また、それらは観光やまちづくりにどのように役立つのでしょうか。事例を通して、日々の暮らしのなかの地域資源の役割を考えていきましょう。
	② 5月21日 (第4)		
	③ 6月18日		
	④ 7月9日 (第2)		
	⑤ 8月27日 (第5)		
	⑥ 9月17日		
田中健史朗 (山梨大学准教授)	① 4月15日	人の「こころ」(心理)について考える	人の「こころ」に関心をもち、その心理を掘り下げ、本質的な問題や課題が何であるのかについて理解することを目指します。また、支援者として支援する方法を獲得することを目指します。
	② 5月13日		
	③ 6月17日		
	④ 7月15日		
	⑤ 8月19日 (第4)		
	⑥ 9月16日		
鳥山 孝司 (山梨大学准教授)	① 4月23日 (第4)	走るを科学する	速く、長く走れる走り方は？怪我をしない走り方は？運動力学、生理学などの観点からこれらについて考えていきます。単純な運動ですが、奥深さに触れてみませんか？
	② 5月14日		
	③ 6月18日		
	④ 7月16日		
	⑤ 8月20日 (第4)		
	⑥ 9月17日		

※ 1. 第一週とは、その月の1日から土曜までの間  
2. 客員教員等の役職については、2026年2月1日現在で記載